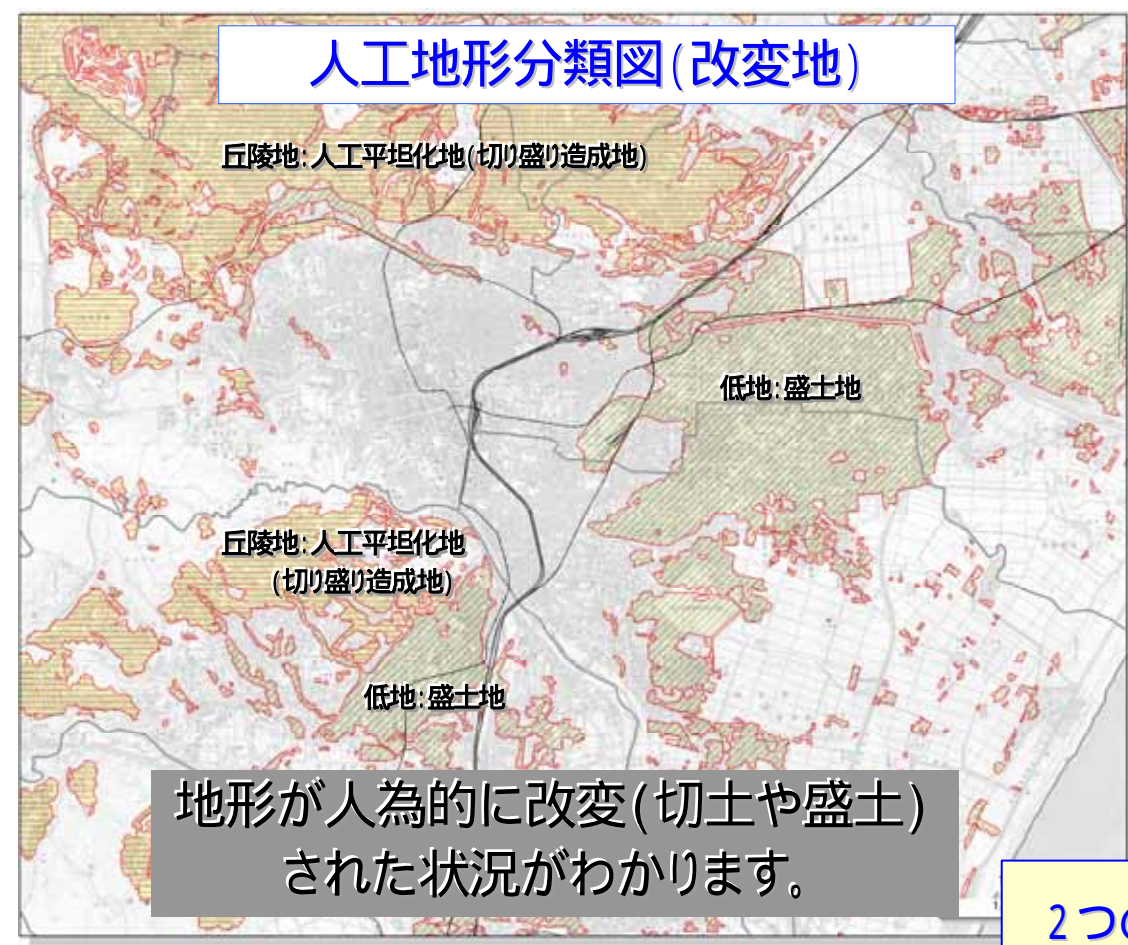


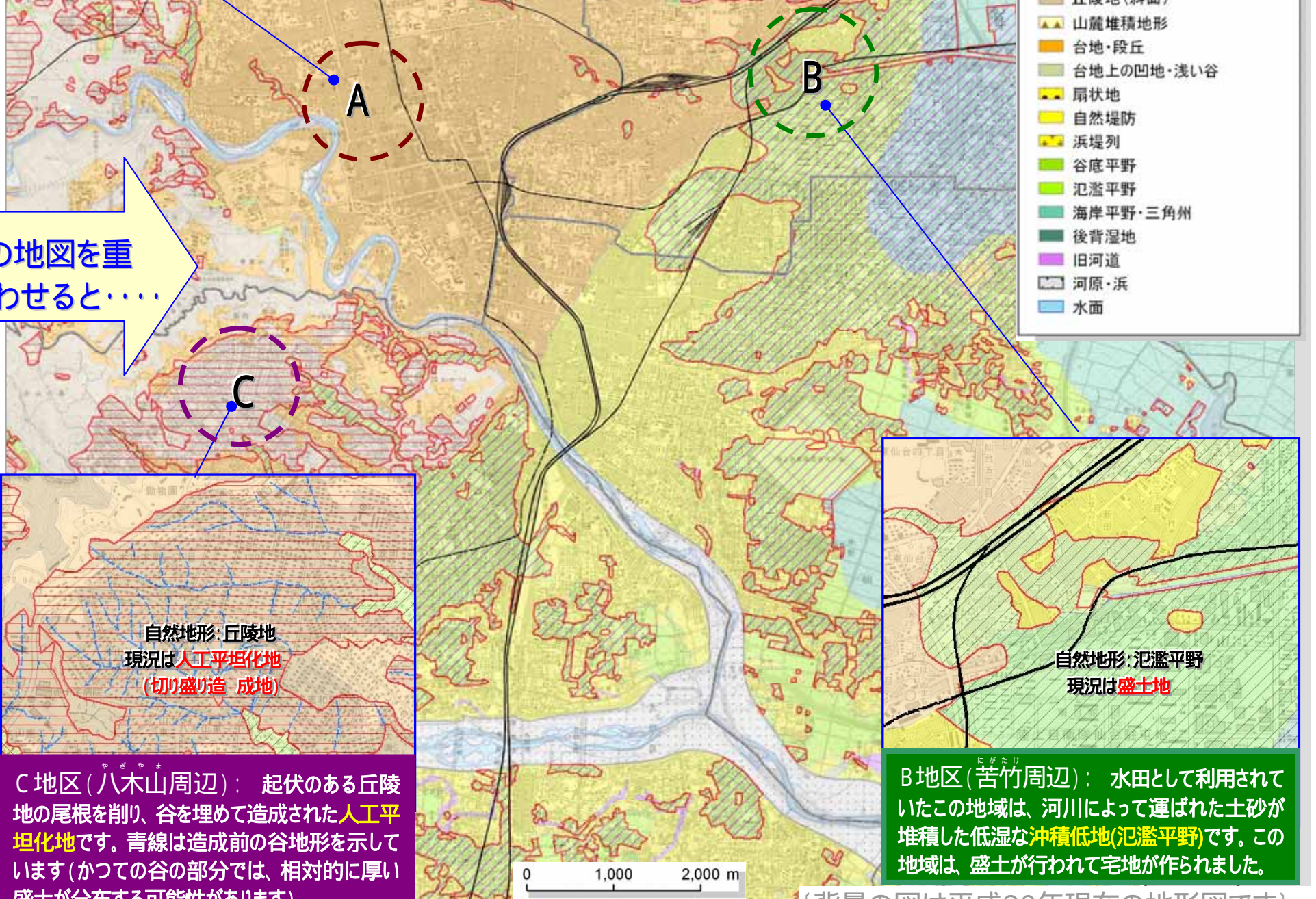
土地の安全性に関する調査成果のイメージ

土地状況変遷情報(「自然地形分類図」と「人工地形分類図」を重ねてわかること)



自然地形分類図と人工地形分類図の重ね図(参考図)

丘陵地では造成前の元地形が、低地では盛土がなされる前の自然の地形がわかります。



凡例

人工地形分類	
人工平坦化地(切り盛り造成地)	
盛土地(低地)	
自然地形分類	
丘陵地(斜面)	
山麓堆積地形	
台地・段丘	
台地上の凹地・浅い谷	
扇状地	
自然堤防	
浜堤列	
谷底平野	
氾濫平野	
海岸平野・三角州	
後背湿地	
旧河道	
河原・浜	
水面	



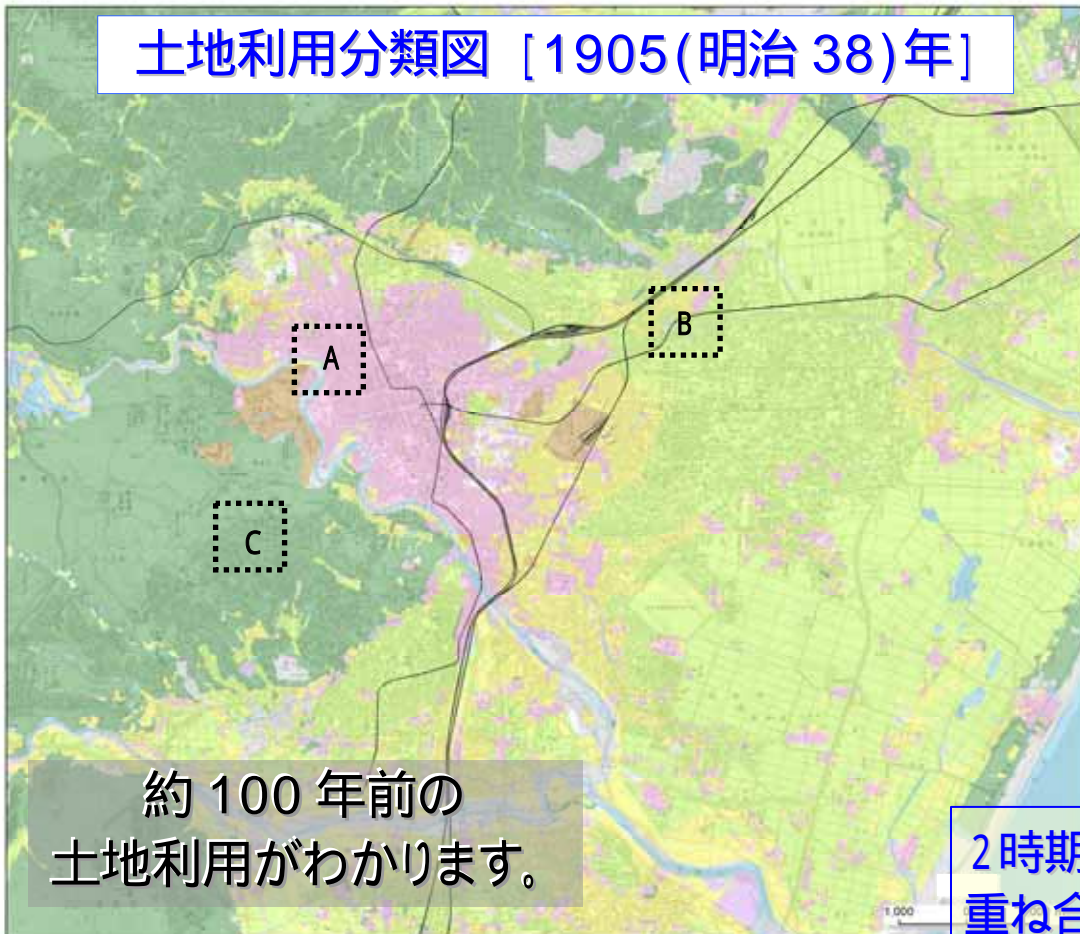
〔背景の図は平成20年現在の地形図です〕

この地図は、国土院発行の2万5千分1地形図(仙台東北部・仙台西南部・仙台西北部・仙台西南部)を使用したものである。

参考資料: 経済企画庁(1967):1/50,000土地分類基本調査(地形分類図)「仙台」、国土院(1973):1/25,000土地条件図「仙台」、国土院(1976):1/25,000治水地形分類図「仙台東北部」「仙台東部」「仙台西南部」、米蔵航空写真M201(1947)、M646(1947)、M894(1948)、国土院航空写真CTO97-1X(1997)、TO2006-1X(2006) 陸地測量部(国土院)発行2万5千分1地形図「岩切」「原町」「関上」「仙台北部」「仙台南部」「増田(明治37・38・40年測図)」2万5千分1地形図「仙台東北部」「仙台東部」「仙台西北部」「仙台東部(昭和3・5年測図)」「鉄輔」、国土院発行2万5千分1地形図「仙台東北部」「仙台東部」「仙台西北部」「仙台西南部(平成19・20年更新)

土地状況変遷情報(時期の違う「土地利用分類図」を重ねてわかること)

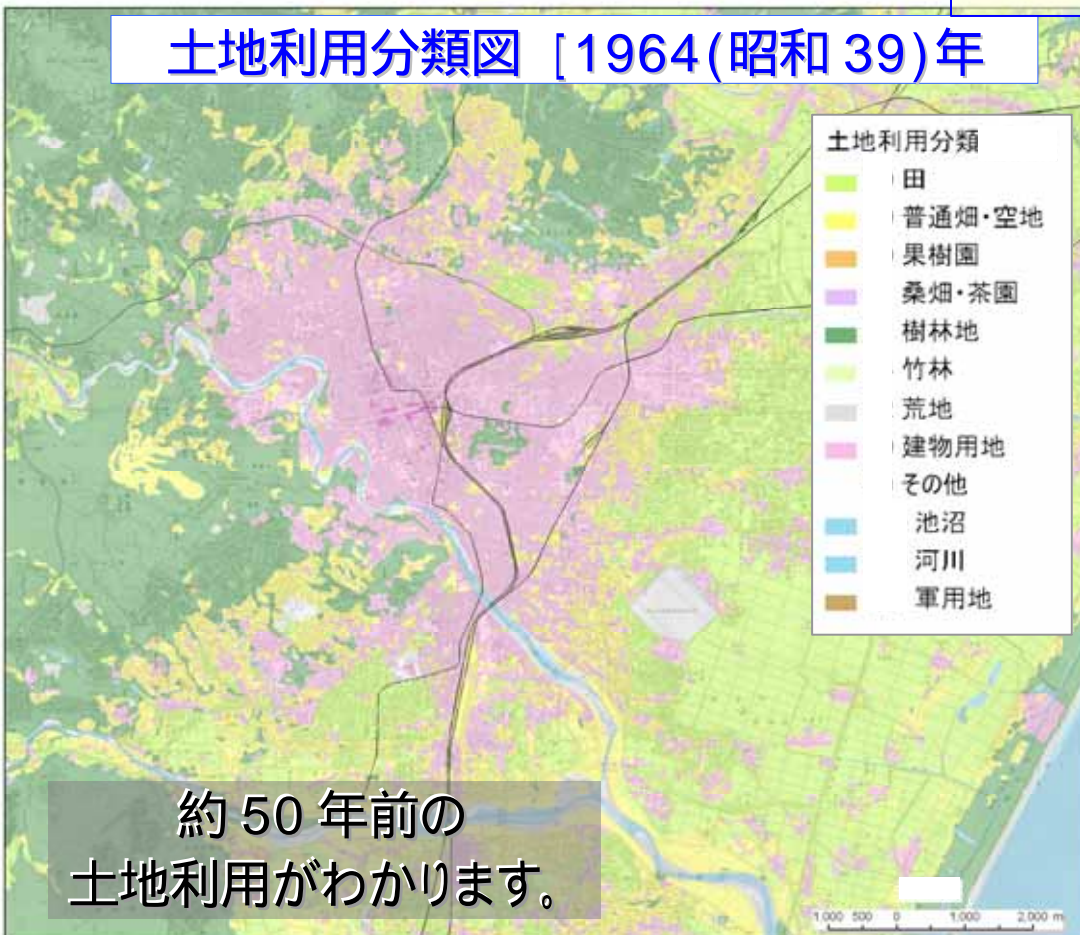
土地利用分類図 [1905(明治38)年]



約100年前の土地利用がわかります。

2時期の地図を重ね合わせると……

土地利用分類図 [1964(昭和39)年]



約50年前の土地利用がわかります。

A地区(木町通周辺):
明治の頃から市街地となっていました。

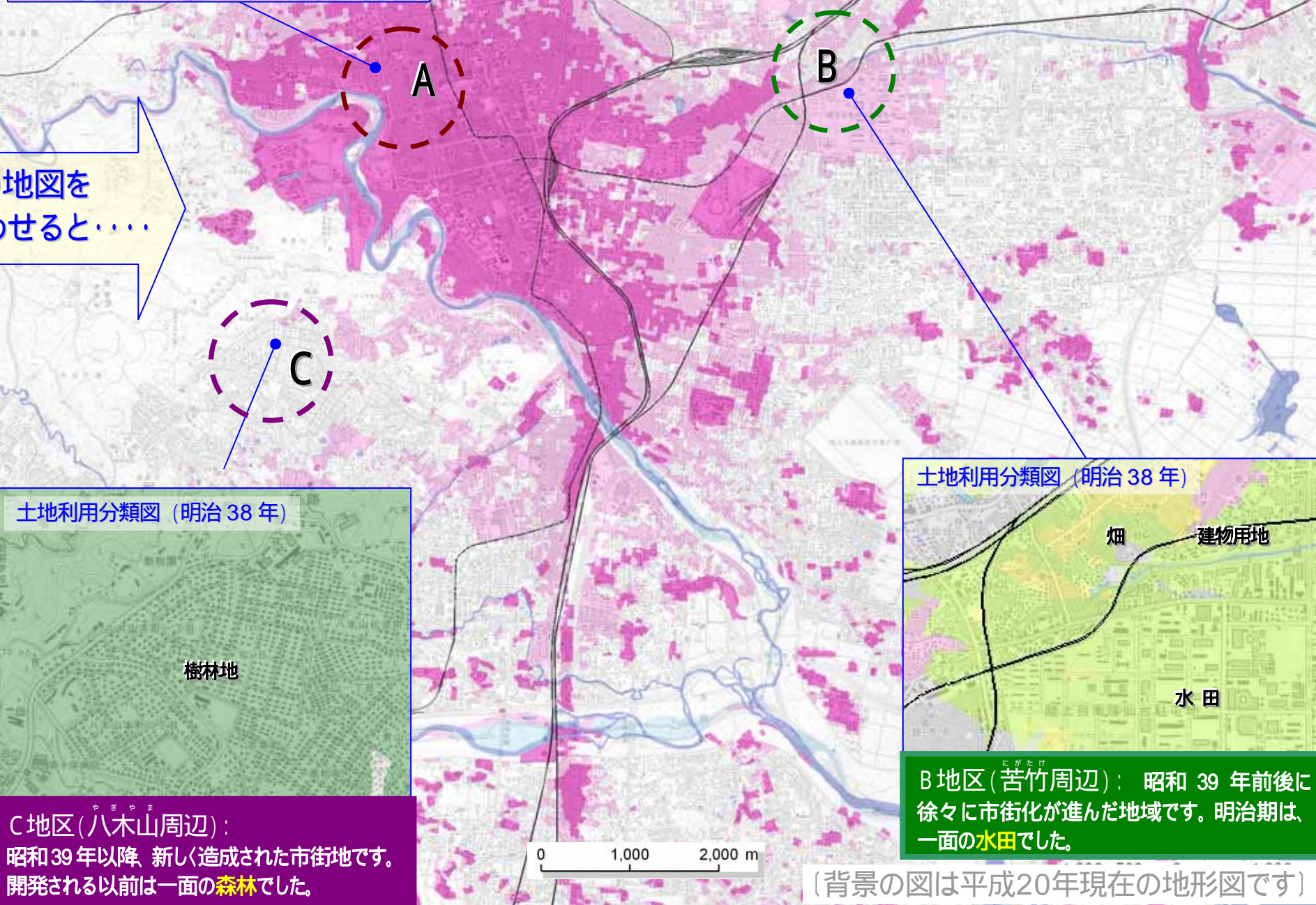
土地利用分類図(明治38年)



2時期の土地利用分類(建物用地)の重ね図(参考図)

次のようなことがわかります。
宅地化された時期はいつ頃か。
宅地になる前はどのように利用されていたのか。

- 明治38年当時の市街地
- 昭和39年当時の市街地



土地利用分類図(明治38年)

樹林地

C地区(八木山周辺):
昭和39年以降、新しく造成された市街地です。
開発される以前は一面の森林でした。

土地利用分類図(明治38年)

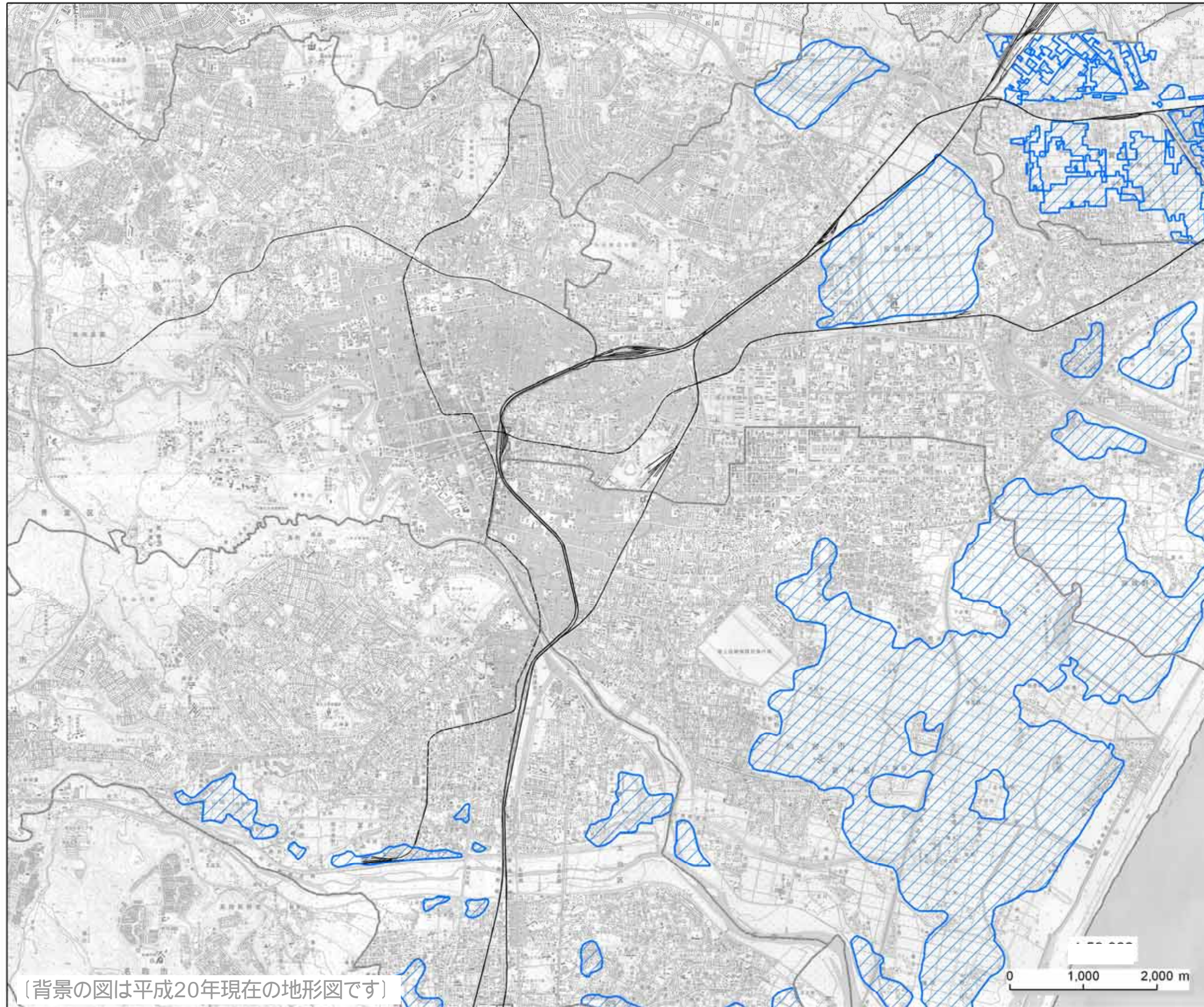
畑 建物用地
水田

B地区(苦竹周辺): 昭和39年前後に徐々に市街化が進んだ地域です。明治期は、一面の水田でした。

(背景の図は平成20年現在の地形図です)

災害履歴情報(水害)

1994年9月の水害範囲を示しています



災害履歴図(水害)

参考資料:
多賀城市及び名取市内の浸水状況
宮城県(1994)平成6年9月大雨災害の記録
仙台市内の浸水状況
仙台市消防局・建設局資料
本図に示した浸水区域は、既存資料から調査、編集したものであり、細部は実際と異なる場合があります。

凡例

- 主要水害の浸水実績
- 1994年9月22日 浸水区域

この地図は、国土院発行の2万5千分の1地形図(仙台北部・仙台南部・仙台西部・仙台東部)を使用したものである。

